

第2回 B中学校（仮称）準備委員会 会議録

開会日時 令和7年3月27日（木） 午後 1時59分
閉会日時 令和7年3月27日（木） 午後 3時23分
場 所 愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1・2

■ 出席委員

委員長	勝田 拓 真
副委員長	水 谷 真 治
給父町総代（八輪小学校区）	三 輪 好 一
八開中学校学校評議員	吉 川 立 洋
八開中学校学校評議員	細 野 淳 子
佐織西中学校学校評議員	佐 藤 文 昭
佐織西中学校学校評議員	杉 本 隆
開治小学校 PTA	野 崎 勇 志
草平小学校 PTA	渡 邊 幸 愛
西川端小学校 PTA	深堀ゆかり
公募委員	鈴 木 幸 子
公募委員	飯 野 大 輔
公募委員	伊 藤 敦
八開中学校校長	市 川 昇
佐織西中学校校長	中 山 政 彦

■ 欠席委員

草平町総代（草平小学校区）	戸 村 睦 郎
西川端町総代（西川端小学校区）	横 井 廣 勝
八開中学校 PTA	横 井 祥 晃
佐織西中学校 PTA	渡 邊 徳 仁
八輪小学校 PTA	富山美奈子
公募委員	村 上 尚 美

■ 事務局

教育委員会

教育部長

教育部次長

学校教育課長

学校教育課主幹

学校教育課課長補佐

学校教育課主査

学校教育課主事

学校教育課主事

佐藤博之

飯田裕子

伊藤光

伊藤昭良

坪井靖史

水谷繁夫

大橋勇輝

祖父江悠里

■ 傍聴者

0名

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 検討部会の報告

(2) 中間報告書（案）について

(3) 今後のスケジュールについて

(4) その他

4. 閉会

(学校教育課長)	本日はご多用の中、定刻までにお越しいただきありがとうございます。本日、進行を務めさせていただきます、学校教育課長の伊藤です。よろしくお願いいたします。八輪小学校 PTA の富山さま、八開中学校 PTA の横井さま、佐織西中学校 PTA の渡邊さま、公募委員の村上さまにつきましては仕事の都合により欠席の旨、連絡がありましたので報告いたします。ただ今より、令和6年度第2回 B 中学校（仮称）準備委員会を始めます。当会議におきましては、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」の規定により、公開の会議となります。本日は、報道関係者から撮影及び録音の申出があり、許可しておりますのでご承知おきください。なお、本日、傍聴人はお見えになっておりません。また、本会議では、オブザーバーとして愛西市教育委員会の河野教育長、水谷委員、大竹委員が同席しますので、ここでご報告いたします。最後に、当委員会議事録作成のため、事務局も録音をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。続きまして、本日配布の会議資料について、ご確認をお願いいたします。配布資料として、次第と、ホチキス止め資料1－1から1－3「検討部会の報告」資料2「中間報告書（案）」資料3「スケジュール（案）」となっております。不足がありましたらお知らせください。 《不足なし》
(学校教育課長) 【委員長】	それでは、次第の2あいさつ、委員長の勝田様よろしくお願いいたします。 皆さんこんにちは。年度末の大変お忙しい中、会議にご出席いただきましてありがとうございます。今週の月曜日24日に修了式ということで、地域の方々、PTAの方々、学校関係者の方々が見守って下さった生徒が無事学期を終了したということを知っております。先週は小学校の卒業式も行われまして、大変おめでとうございます。2月、3月と委員の皆様方には部会を実施していただき、誠にありがとうございました。2月10日には委員の皆様、全員ではございませんが、にじの丘学園への視察を実施していただき、私も参加してまいりました。誠にありがとうございました。私も統合前に6年間、統合される側の中学校に勤めておりました。開校後6年経ちましたが、教育的な部分を見ていただき、また課題も多々あるかと思っておりますので、そういった点も参考にさせていただければと思います。今日は報告を中心にしていただきますが、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(学校教育課長)	ありがとうございました。続きまして、次第の３議事に移ります。ここからの進行は、勝田委員長にお願いいたします。
【委員長】	それでは、次第の３議事に入ります。(１) 検討部会の報告について、２月に教育・学校運営部会、施設・通学路部会、３月に地域課題部会が開催されておりますので、お願いしたいと存じます。はじめに教育・学校運営部会について、飯野部会長さん、よろしくお願いいたします。
(委員)	教育・学校運営部会の部会長の飯野です。よろしくお願いいたします。部会で出た意見を簡単にご説明させていただきます。今後必要なこととして、ほかの自治体や学校との差別化という点も含めまして、１０のカテゴリーで分けました。学校運営について、給食について、教育について、生徒会について、部活動について、通学について、地域との繋がりについて、事前交流について、跡地利用について、その他ということで分けました。補足説明の中で１つだけピックアップさせていただきますと、学校の給食の見直しというものがあまして、こちらに関しては、牛乳の廃棄量がすごく多いということで、議会の方での話をピックアップすると、年間１８０キロの廃棄があり、処分費が１６０万くらいかかっています。また、牛乳が日本人の身体に合わないという部分の中々知られていないということがあり、残す物、身体に合っていない物を提供するということが果たして妥当なのかということで、フードロスの観点から見直すのは面白いのではないかとということで意見が挙がっております。あとは、食の見直しということで農業がせっかく盛んな地域ですので、地産地消を行って今まで以上に特色のある給食にすることで、少子化対策に繋がるのではないかと考えております。ほか、様々な意見が出ましたが、資料をご確認ください。以上です。
【委員長】	ありがとうございました。続いて、施設・通学路部会について、佐藤部会長さんよろしくお願いいたします。
(委員)	学校施設・通学路部会には、八開中学校校務主任の家田先生と佐織西中学校校務主任の沢井先生にご参加いただき、施設に関する今の状況を教えていただき、にじの丘学園の視察での情報と比較して検討を行いました。資料に出ているように、教室の黒板、我々の時代と違い、プロジェクタ、電子黒板が必要になるのではないかといった意見がありました。世代間の違いを肌で感じておった次第です。それから、ロッカーについて、今はタブレットなどの機材を持たなければならないということで、

	机の大きさ、ロッカーの大きさ、そういった部分を改良していかなければならない、新しい時代に即した教育施設というものが必要、昔と比べて色々な面が変わってきているなとつくづく感じた次第です。あとは、学校の先生から出た意見も入っておりまして、こういったものもこれから順次取り組んでいく必要があると思います。それから、八開の生徒さんに対しての通学について、八開の上東川の方が県道津島一宮線に出てくる、給父西枇杷島線に出てくる、そういった部分の交通量、領内川の堤防をつたってくるにしてもそういった所の整備がきちんとされているか、防犯カメラを設置してはどうか、スクールバスか自転車かということも出ておりますが、恐らく自転車通学になるかと思いますので、その場合の防犯対策などが課題に出ております。それから、災害の際の学校の役割です。今、色々な災害が全国各地で出ております。この地域もひと昔前は伊勢湾台風など、大きな災害があった地域です。災害時の学校やコミュニティは避難場所になりますので、そういった部分への対策も必要になるのではないかという意見も出ております。その通学に対しての安全をいかに検討するかということが意見として出て、一番の課題だと思います。以上です。
【委員長】	ありがとうございました。続いて、地域課題部会について、鈴木部会長さんよろしく願いいたします。
(委員)	まず、瀬戸のにじの丘学園を見学させていただいた際に教えていただいたのですが、図書室を一般開放しているということでした。土日の利用ということでしたが、八開地区は図書館が無いので、一般開放で子どもと地域の交流ができるといいなと思いました。それと地域の行事ですが、八開地区では八開中学校の場所を利用して、年に一回、市民体育大会と納涼祭りを行っています。その時に八開中学校の生徒さんをボランティアで募って協力してもらっています。納涼祭りだと、八開中学校の生徒さんが考えた八開練武を踊って、盛り上げてもらっています。市民体育大会ですと、中学生が積極的に手伝い、盛り上げてくれる姿が沢山あります。そういった地域の行事が無くなってしまうと、八開地区の活気がなくなるのではないかと心配しています。若い子が地域に来てくれるような、盛り上げてくれるような行事を佐織西中学校と統合された後も何かの形で残してくれるといいなという意見が出ました。跡地ですが、八開中学校はきれいな施設です。それをそのままにしておくのではなく、避難所として使うなど、放置ではなく活用してほしいという要望もありました。あと、通学路についても、八開地区の子が遠くなるので危険が

	伴うのではないかという意見、安全に子どもたちが通えるようにしてほしいという意見が出ました。瀬戸市での見学の際にお話を聞いたのですが、にじの丘学園の生徒数が予想よりも増え、教室が足りないというお話を聞きました。にじの丘学園に通いたいから転入してくるというご家族もいるということを知りました。愛西市も新しい学校をつくるのならば、それくらいの魅力のある、愛西市に来て学びたいと思うような地域と学校づくりをしてほしいというお話が出ました。あとの意見については資料をご確認ください。以上です。
【委員長】	ありがとうございました。今回は、各部会それぞれの枠にとらわれず、自由な発想でご意見をいただいたと事務局から伺っていますが、それぞれの報告を聞いて、何かお気づきの点、ご質問などありましたらご意見をお願いいたします。
(委員)	一保護者として先ほどの報告を聞いておりました。給食に関する牛乳のロスが多いため、牛乳を提供するかどうか再検討が必要という先ほどの意見について、私の育った時代背景からいいますと、牛乳を毎日給食で飲んでいて、成長盛りの子どもには栄養源としてとても大切なものだと思っておりました。その辺り、牛乳がだめなら牛乳に変わるようなカルシウムがしっかりとれるものを検討していけるといいのではないかと思います。小麦粉に関しても日本人の身体に合わないものということでは言われていますが、昔から、麺とかも食べていたと思いますので、本当に合わない物なのか、アレルギーなのではないかというその辺りを栄養士さんと話して進めていってほしいなと思います。草平小学校では栄養士さんがいらっしゃっていて、2年生では学校で育てた野菜を給食で提供して、娘とか、いっぱい食べないような子が野菜に興味をもってボランティアさんと一緒に育て上げた野菜を食べたということがありました。栄養士さんが各学校に1人いるような環境でいてほしいと思います。今草平小学校だと、西川端小学校と草平小学校、佐織西中学校で1人の栄養士さんだと思いますので、各校1人にしていただけるとアレルギーの相談もしていただきやすいかと思います。
【委員長】	ありがとうございました。私たちはやはり給食で牛乳を飲んできた世代ですので、牛乳の提供が無いというのはどうなのかなと思ってしまいますが、牛乳以外のものを検討してはどうかという意見でした。また、栄養士につきましては、ご意見として検討していただければと思います。その他、よろしいでしょうか。

	いただきまして、別紙①をご覧ください。こちらは各検討部会でご検討いただきました、先ほど資料でも付けさせていただいております表になったものがございます。それらをもとに、あとは学校の再編を昨年度行いました南知多町さん、愛西市の学校再編に際して参考にさせていただいております。第1回準備委員会でも南知多町の検討事項について、資料をご覧くださいのかと思います。そちらに記載されている内容と、各検討部会で検討いただいた内容を組み合わせた表を作らせていただきました。表の見方ですが、一番左側が各担当部会、分野が各担当部会の分野になります。その次、「南知多町の検討事項と同様」と書いてある部分ですが、B 中学校（仮称）準備委員会で挙げた検討事項と、南知多町で実際に検討された内容と重なったものがマークされております。その次の「南知多町検討事項」という欄がございますが、こちらは南知多町の進行計画の中で実際に検討した項目として書かれていたもので、本準備委員会の検討事項としては挙がっていませんでしたが、必要であろうと考えられるものをこちらに入れさせていただきました。どちらにもマークが無いものは南知多町では検討されておきませんが、本準備委員会では検討した方がいいのではないかとということで挙げた項目でございます。一番右側、「スケジュール」となっておりますが、現在空欄になっております。学校の再編が決まるまでの間で、いつのタイミングで検討を進め、いつまでに決めなければならないかという欄を今後検討していく部分として今空けてございます。今後、検討を進めていく際に必要になると考え、中間報告書の資料として付けるため、事務局で作ったものになります。4ページに戻っていただけますでしょうか。③今後のスケジュールについて、次の議題になっております。④その他、会議録の承認について、こちらも皆様に後ほどお諮りしたいことがございます。5ページへお願いいたします。その他としまして、先日視察いただきました瀬戸市立にじの丘学園について（1）で書かせていただきました。（2）では、検討部会で検討していただいた内容、先ほどご報告いただいた内容について簡単に書かせていただいた上で、先ほどの資料につきましても、別紙②から④として中間報告書にも別紙で添付してはどうかと考えております。以上で中間報告書（案）として、教育委員会へ報告していただきたい、こういった書類を作ってはどうかということで、作らせていただきました。報告書の是非も含めて、皆様にご審議お願いしたいと思います。なお、B 中学校（仮称）準備委員会と並行しまして、佐屋小学校準備委員会とA 中学校（仮称）準備委員会も行っておりまして、本準備委員会と同様に中間報告書を作成することについてお諮りしまして、どちらも報告書を作ることで承認していただきましたので、そちら
--	--

	もご報告させていただきます。ご審議よろしくお願いいいたします。以上です。
【委員長】	ありがとうございました。ただいま事務局から、中間報告書（案）が示されましたが、委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。
（委員）	こちらは案ですが、正式に作られたものにつきましては、前もって私たちが見てから教育委員会に上げられるのでしょうか。それともこのまま上げられるのでしょうか。
（事務局）	本日の会を終えまして、内容を精査し、本日の議事録と一緒にご覧いただいた後、教育委員会へ報告という形になるかと思います。
【委員長】	その他、よろしいでしょうか。
（委員）	量が多くてついていけないのですが、にじの丘学園の視察についての報告か何かがこの中に入っているのでしょうか。その他の部分ですが、視察についてはどこに書いてあるのでしょうか。
（事務局）	説明が拙く申し訳ございません。瀬戸市のにじの丘学園の視察につきましては、「その他」の中で、視察を行ったという事実について触れさせていただいたものになります。別紙①については、中間報告書に付けるものとして、別紙にした方が分かりやすいかと思ひまして、別紙にさせていただき、このような表記にさせていただきました。にじの丘学園の視察の後、検討部会を行い、その結果を用いて、別紙①の進行計画を作っておりますので、順番が分かりにくくなっておりますが、表記としてはこのように事務局で整えさせていただきました。分かりにくいようでしたら、変えることは可能ですので、またご意見をいただければと思います。よろしくお願いいいたします。
【委員長】	その他よろしいでしょうか。 《その他意見なし》
【委員長】	それでは、（２）今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

(事務局)	ありがとうございます。(3)に入る前に、先ほどの中間報告書ですが、少し誤字等がございますので、その辺りを修正したものを改めて委員の皆様にご覧いただきたいと思います。ご意見をいただき、案が取れた完成形のを教育委員会に報告書として提出したいと考えておりますので、またご協力よろしく願いいたします。では、(3)今後のスケジュールについて、に入らせていただきます。お手元に資料3のB中学校(仮称)スケジュール(案)をご用意ください。まず、上の段ですが、統合までのスケジュール(修正案)とさせていただきます。第1回準備委員会の際には、今後調査を行って設計等を進めていくということで、説明させていただいておりましたが、資料の※印にあります、「施設については健全度調査、耐力度調査及び基本計画等の時期について、財政部局と協議・検討する。」と書かせていただいております。B中学校(仮称)ですが、現在の佐織西中学校の位置に配置するということで計画されております。この佐織西中学校の建物が現在どのような状況なのか、老朽化がどのくらい進んでいるか、建物をそのまま改修して、子どもたちが安全に学校で生活することができるのか、あるいは建物の躯体が古くなっており、このままでは何年ももたないので建て直さなければならないのか、その辺りの調査が健全度調査、耐力度調査で数字として出てまいります。こちら、専門的な知識が必要になりますので、専門業者へ委託をしなければなりません。業者に委託するには、予算が必要になってまいりますので、現在、財政部局と協議を進めているところでございます。具体的にいつ行うということは現在この場でお伝えすることが出来ませんが、今後も財政部局と引き続き検討していきたいと考えております。そちらの調査が終わり次第、建物を改修するのか、改築するのかを決めてまいりますので、決まり次第、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、その後に工事という流れになってくると考えております。建物に関して、具体的にお話しすることが出来ませんが、2つ目の※に、「令和7年度から愛知県教育委員会から派遣される指導主事が一人増員のため、教育計画や学校運営について検討を進める。」とあります。先日議会を終えまして、派遣指導主事、学校の先生が主事として教育委員会に来ていただくのですが、1人増やしていただくことについて予算をお認めいただきました。来年度、B中学校(仮称)準備委員会、佐屋小学校準備委員会、A中学校(仮称)準備委員会を取り組んでいただける方に新たに来ていただけることになりましたので、教育計画、学校運営、通学路等、新しい学校に必要な内容の検討を進めてまいりたいと思っております。下の表になりますが、令和7年度のスケジュール(案)として、準備委員会と検討部会の予定を書かせていただきました。準備委員会で
-------	--

	すが、先ほ少しお話しさせていただきましたが、本日をもって、本委員会から離れる方が何名かお見えだと思います。年度が変わりましたら、新たに総代さんや評議員さん、PTA等の役職に就かれた方に準備委員会委員をお願いする期間を設けさせていただきたいと考えております。その上で、10月頃に会議の予定をさせていただいております。多少前後する可能性がございますが、なるべく早い時期に準備委員会を開催させていただきたいと思っております。その後、検討部会、先ほどの3つの検討部会にまた分かれていただきまして、具体的な検討を進めていただき、2月か3月の準備委員会で令和7年度も進めていただきたいと考えております。簡単ですが、スケジュールについては以上です。よろしくお願いいたします。
【委員長】	ただいま事務局から、令和7年度のスケジュール案が示されましたが、委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。
(委員)	令和7年度の準備委員会は10月、検討部会は1月まで何も行われないうことでしょうか。時間が足りない検討部会もあったみたいなのですが、そのまま1月まで何もしないということでしょうか。
【委員長】	それでは事務局より回答をお願いいたします。
(事務局)	ありがとうございます。検討部会で検討いただく内容につきましては、10月の準備委員会の場でも皆様にお示しさせていただきたいと考えております。宿題のような形になって恐縮ですが、各委員の皆様にはご自身の中で検討を膨らませていただきまして、検討部会の場で意見を出していただきまして、検討部会として報告、結果を出していただいた上で準備委員会に諮っていただきたいと考えておりますので、現在このようなスケジュールにさせていただいております。多少前後する可能性がございますので、現時点での予定ということですのでよろしくお願いいたします。
【委員長】	多少ずれるかもしれないですが、おおむねこのような形でということですが、いかがでしょうか。
(委員)	せっかく10月に準備委員会を開催するので、その前に検討部会があるといいなと思いました。

【委員長】	意見をいただいたということで、検討していただければと思います。その他、よろしいでしょうか。 《その他意見なし》
【委員長】	ありがとうございました。それでは、（３）その他について事務局から何かありますでしょうか。
(事務局)	それでは、（４）その他として、事務局から２点お諮りしたいことがございます。まず、１点目、会議録についてです。本来第１回の準備委員会でお諮りしなければならなかったのですが、事務局が失念しておりました。大変申し訳ございません。会議録なのですが、既に第１回の会議録について、委員の皆様にご承認いただきました。ありがとうございます。会議録の体裁についてですが、これまで作っておりました会議録と同様の体裁で作成させていただきましたが、事務局の説明の部分が「事務局説明」という簡単な言葉で表記されておりました。何を書いてあるのかが分からないということで、具体的に事務局の説明も書いてはどうか、また、会議録はボリュームがありますので、多くの方に見てもらう為にも概要版を作ってはどうかというご提案をいただきました。事務局としては、そのように作成することは差し支えありませんが、準備委員会の会で作られる会議録でございますので、皆様にもご意見をいただいた上で、会議録の体裁をどのように整えていくかを決めていただいた方がよいのではないかとということで、その他で紹介させていただきました。また、委員の方からも直接説明されることもあるかと思っておりますので、一度ご発言いただいた上で会議の中で決めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
(委員)	私から意見を言わせていただきました。確認してくださいと言われたのが、会議から２か月くらい後で、何を言ったかなという感じだったのですが、いただいた資料も話し言葉で書かれたものだったので、簡単にまとめていただけたら確認しやすかったもので、そういったことを皆さんも思われたのではないかと思います。事務局の方には大変お手間をかけることになるかと思いますが、もう少し簡単な、ホームページに挙げるといったことは皆さんに見ていただくということですので、もう少し分かりやすい議事録を作成していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【委員長】	言葉そのものではなく、分かりやすくまとめていただいたものをというご意見でしたが、よろしいでしょうか。事務局はよろしいでしょうか。
(事務局)	事務局については、会議の中で決まればその通りに作らせていただきます。
【委員長】	よろしいでしょうか。
(委員)	僕も今の意見にすごく賛成で、事務局が大変であれば全然作りますし。基本会議の議事録は、次の日くらいには作成しなければならないということをおっしゃっていましたので、是非行ってほしいと思います。また、今日の資料に関しても、当日配布になっていますよね。これだけの資料の目を通すのに時間がかかってしまいますので、見た上で意見を抽出しようとする、時間がかかって無駄な会議になってしまうということも前から感じていますので、そこは是非取り入れていただけたらと思います。
(学校教育課長)	貴重なご意見ありがとうございます。今後そのように対応させていただきます。よろしくお願いいたします。
【委員長】	その他、よろしいでしょうか。
(委員)	今後のスケジュール、先の動きが見えないのですが、その辺りは健全度調査の結果を見てみないと分からないものなののでしょうか。
(学校教育課長)	ありがとうございます。今後のスケジュールについて、まず健全度調査は国の補助金を得るために必要なものになっております。健全度調査を行って、3年以内に工事に入らなければならないという条件もありまして、そういった点で健全度調査の後に基本構想、基本計画、基本設計、実施設計を行っていく予定です。健全度調査の結果を確認後、改築または改修の方向性が決まるわけですが、他市町の状況を見ておりますと、財政確保等の面から財政部局ときちんと調整をしないと進められないということもございますので、現時点では先のスケジュールがお示しできないということでご理解をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
(委員)	最短でどれくらいに示せるかということも分からないですか。

(学校教育課長)	まず、調査を行った後になってくるかと思います。
(委員)	目安も表記した方がこういった質問が出なくて済んだかと思しますので、表記していただけるといいかと思います。
(教育部長)	令和6年12月議会、令和7年3月議会でも、市議会議員からご質問いただいています。基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、工事につきましては、最短で5年と、改築した場合の期間はおおよそ示されています。また、学校を改築もしくは大規模改修する場合は多額の費用がかかることを予測しています。財源の確保に関して、市長部局と調整をしているところであり、調整を経て初めてスケジュールがお示しできます。全体的なスケジュールに係る何年を目途に開校という回答につきましては、差し控えさせていただくということでご理解をいただきたいと思ひます。
【委員長】	その他、よろしいでしょうか。 《その他意見なし》
【委員長】	それでは、引き続き事務局よろしくお願ひいたします。
(事務局)	ありがとうございます。その他につきまして、もう1点ございます。先ほども少し申しましたが、準備委員会の設置要綱には、準備委員会の委員につきまして、「特定の地位又は職にあるため委員となった者が当該地位等に該当しなくなったときは、委員の職を辞したものとみなし、新たに当該地位等に就いた者を委員として委嘱するものとする。」とございます。総代さんや評議員さん、PTAの方は、もしかすると来年度は同じ職にお見えではない方もいらっしゃるかと思います。もし、今の時点でそういったことが分かっているようでしたら、また教えていただき、来年度、事務局で新しい委員の方を探させていただき、お願いにあがりたいと思っております。もし分かる方いらっしゃいましたら、ご発言いただけたら、また後ほどでも結構ですので、教えていただければと思います。なお、公募委員の方は2年間の任期でお願いしておりましたので、来年度もよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。
【委員長】	事務局より確認がありましたが、今年度をもって、委員を辞する方におかれましては、準備委員会にご協力いただきましてありがとうございます。

	した。本会議が最後となってしまいますので、ご要望でも結構ですので一言ずついただきたいと思います。
(委員)	また何かご協力ができることがございましたら、ご協力させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
(委員)	全然違う話になりますが、合併することでどのくらいの経済効果があるのですか。
(学校教育課長)	我々、教育効果をもって統合を進めてまいりたいと思っておりますので、ご質問にはお答え出来かねます。
(委員)	教育効果はどのようなものがありますか。
(学校教育課長)	中学校については、小規模になりますと、教科専門の教員が配置できないということが一つの理由として、統合を進めております。
【委員長】	私の経験から申しますと、小規模化したことでこれまで通り、体育祭、運動会や文化祭ができないといった行事に支障が出てきたり、部活動も成り立たないということが出てきます。ある程度人数が確保できないと、これまでの学校の教育ができないということもございますし、人間関係が固定化するので、少人数の場合はリセットができないという状況があります。統合し、人数が増えるとそういったことが緩和されやすいと思います。
(委員)	人数が減るからそういった考えということですが、人数を増やすという考えは無いのですか。魅力のある学校づくりと書いてありますが、具体的にはどのようなことを考えていますか。
(学校教育課長)	教育委員会としては、魅力ある学校づくりということで人数を増やす事に貢献できればと考えております。
(委員)	魅力ある学校づくりというのは、漠然としているので、具体的にはどのようなことですか。
(学校教育課長)	今後の検討課題だと考えております。

【委員長】	にじの丘学園などの統合後に開校した学校の話聞くことで見えることもあるかと思いますので、参考にしていただければと思います。
(教育部長)	学校適正化は、小規模校を否定するという考えに立ったものではございません。小規模校には小規模校の良さがあるということも重々承知している中において、正規職員の配置数や人間関係の固定化、学校行事の内容において制限、制約を受けるという教育的な観点から、教育委員会として、学校適正化によるメリットが大きいと判断しました。計画を策定するまでの間に、立田地区と八開地区に関しては座談会を開催させていただき、意向調査を行わせていただきました。意向調査においても、圧倒的に賛成が多いわけではないことも重々承知している中で、生徒の教育的な観点から、よりよい学校のあり方を第一に考えて、今このように準備委員会でご議論をいただいているところです。 魅力のある学校については、教育委員会が主導するのではなく、地域の方々にご参加いただき、魅力ある学校づくりについて検討いただいております。中間報告書（案）の別紙①を見ていただきますと、学校の運営方針や学級活動、指定カバン、ジャージ、生徒手帳、校則、生活の内規など、全て事細かく、検討部会、準備委員会でのご意見を踏まえて、新たに作っていくことをもって魅力ある学校づくりを行っていききたいというのが教育委員会の考えです。
【委員長】	ありがとうございました。それでは、次の方お願いいたします。
(委員)	統合は進めて欲しいとは思いますが、今お話を伺っておりますと、財源の問題など、長くかかりそうだなというのが印象です。
(委員)	少人数よりも大人数の中で、試合、競争意識、協調性を育んでいただけると良いかと思います。事務局の方にお聞きしたいのですが、私は佐織西中学校の評議員ということで令和8年3月31日までの委嘱状をいただいております。佐織西中学校の評議員は次の方と変わりますが、どのようになるのかと思っておりますが、いかがでしょうか。
(事務局)	ありがとうございます。何年されるかということは私共では把握できておりませんでしたので、令和8年3月31日までで委嘱状を出させていただきました。評議員を辞められるということであれば、令和7年3月31日で委嘱が終了するというところで構いません。

【委員長】	それでは、次の方よろしく願いいたします。
(委員)	1つの事業を成し遂げるには大変な下準備がいるということが大変よく分かりました。いい経験をさせていただきました。ありがとうございます。
(委員)	3点言わせていただきます。1点目、私そもそもそんなに賛成派ではなかったのですが、統合するのであればメリット、デメリット考えた上で、メリットを取るということで、どうせ新しい学校をつくるのであれば、いい学校にしてほしいという考えがありますので、そういった方向で動いていただければと思います。2点目、先ほどからにじの丘学園の視察という話が出ておりました。私は仕事で行けなかったのですが、視察に行かれた5名の方、視察された上で何が良かったのか、どういった所が魅力的だったのか、ここはうちの地域には合うな、合わないなという所をできれば報告書のような形でまとめていただくといいなと思います。3点目として、私は今年で終わりますので、最後の会議になります。1年ありがとうございました。以上です。
(学校教育課長)	検討部会でにじの丘学園の感想もいただいておりますので、その記録が残っていれば、そこでまとめられるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
【委員長】	それでは、次の方よろしく願いします。
(委員)	初めてPTA役員になり、準備委員会に出させていただき、検討部会の資料も今見せていただきましたが、皆さんが積極的に前向きに子どもたちのために話し合っていこうという意気込みが見られて、私も来年度もやらせていただくのですが、また私ができること、出来る範囲で検討していけたらと思います。来年度もよろしくお願いします。
(委員)	にじの丘学園の話がありましたが、その時に配られた資料などもありましたらいただけると参考になるかと思っておりますので、よろしくお願いします。検討事項については、また次回の会議までに保護者の間で共有し、発言できるよう、検討したいと思います。よろしくお願いします。
(委員)	八開地区では、地元の中学校在無くなるということはかなり重大なこと

	だと思っています。私は中学生の子をもっていますが、母校が無くなるということは悲しいことだと気づいています。地域の人もお子さんが大きくなって、中学校に通わないご家庭も地域の学校が無くなるということは、1つの光が無くなるような大きなことだと思っています。スケジュール（案）を見ながら思ったのですが、次回の予定が10月となっています。来年度新しくなってくれる方もいらっしゃるかと思いますが、半年も間をあけていいのかなと思います。ここに来て下さる方は時間を作って、考えようと思ったださっている方だと思いますが、半年以上空くということはなんですかと思いますが、まだ明言できない、いつB中学校（仮称）が建つか分からないということなのでこれでいいのかなとも思いましたが、意見としては、もう少し早めに新しく委員になった方と顔を合わせて、また新たに説明をして考えてもらわなければならないので、10月に新しい方に資料を渡し、ということになりますので、せめてあと1回くらい顔を合わせる機会があるといいなと思いました。私は公募で3回目の募集で決まったのですが、自分の子どもはだんだん大きくなっていきますが、こんな学校があつてよかったと思ってもらえるような学校ができるといいなと思いますので、この気持ちをこれからの方にも伝えたいと思いますので、よろしくお願いします。
（学校教育課長）	貴重なご意見ありがとうございます。スケジュールについては、今のところこの予定ではありますが、いただいた意見をもとに検討していきたいと思います。よろしくお願いします。
【委員長】	それでは次の方、よろしくお願いします。
（委員）	まず、鈴木さんが言われた点、検討していただけるということなので楽しみにしておりますが、僕も元々八開に住んでいて、今佐織西中学校区で子どもを育てていますが、このスケジュールでやっていると、今現時点で危機感を感じたのが、八開中学校の30人のうちの10人程度が津島中学校に進学するということで、せっかく将来的に魅力ある学校を作って人を集めようという取り組みをしている中でこういった動きがあつたということで、津島中学校に行かれた方はかなり行動力のある方たちだと思います。そういった行動力のあるインフルエンサー的な方たちが外に逃げないようにするというのが大切なのではないかと思いますので、スケジュールはもちろん大事だと思いますし、跡地利用のビジョンをもっと出していった方がいいのではないかと思います。その辺りを検討していただき、今後もよろしくお願いします。

(委員)	私の父親も息子も佐織西中学校に通っています。そういうこともあって応募させていただきました。今会社員をしています。よく社長に言われるのは、やはりスピード感をもって仕事はやらなければならないと言われます。少子高齢化もどんどん進んでおりますし、そういったところでスピード感をもってやらなければならないと思いますので、協力できることは協力させていただきたいと思います。あと、反対にそんなお役所仕事をやってなんだと言われないうにしなければならないと思います。来年度もよろしく願いいたします。
(教育部長)	皆様のご意見を踏まえて、スケジュールについても見直しをしたいと思います。来年度は愛知県教育委員会から新たに教員を指導主事として配置しまして、別紙①の項目について進められるところを進めさせていただき、開校に向けて取り組んでまいりたいと思っています。
【副委員長】	開治小学校区なのですが、毎月のチラシを見ておりましたら、開治小学校は令和9年度か10年度の入学者数が4人しかいないということで、ここまで人数が減ってしまうと、中学校もどうになってしまうのかという危機感を持っております。また、私の感覚では部活や体育大会などの行事が出来なくなってしまうのではないかと思います。学校の授業や勉強が好きでなかった者にとっては、学校に行く楽しみが無くなってしまうのではないかと思いますので、そういった所を重視して検討を進めていただければと思います。
(委員)	中学校の生徒のために様々な議論を重ねていただき、心配もいただいていることについて、まずもって感謝申し上げます。ありがとうございます。学校としましては、生徒の知徳体のバランスのとれた人間形成、ゆくゆくはつつがなく社会生活を送る人材を育成したいという考えで、中学校では3年間生徒の指導にあたらせていただいております。やはり生徒の数が減れば、人間関係の固定化は否めないですし、部活動や行事の規模がどうしても縮小してしまいますので、考えるところはございます。今後、検討部会で話し合ってください、出た議論をもとにどのような形が佐織西中学校と八開中学校が統合した際に、生徒にとってよいのか、私共は文字通りソフト面を扱っておりますので、まずは外堀、内堀、そして本丸ということで迫っていきたいと考えておりますので、また今後ともよろしく願いいたします。

(委員)	今のところ、両校での交流はございません。ただ、今日の準備委員会、検討部会で話し合われた内容をもとに、こういったタイミングで交流しなければならないかということを考えてまいりたいと思います。一番いいのは、まずは部活動からということは考えておりますが、少しずつ進めてまいりたいと思います。
【委員長】	以上で議事を終わります。
(学校教育課長)	ありがとうございました。これを持ちまして、第2回 B 中学校（仮称）準備委員会を閉じさせていただきます。今年度はありがとうございました。